

理学療法士の藤田 慎一郎さん(49期)は、コロナ禍真っ最中の令和3年9月20日付で、自粛生活の留意点を語っています。

記事によると、日常生活の変化により「動かない」、つまり生活不活発が増えるため高齢者の健康への影響が危惧さ

身体活動を1日1時間以上— などで。

栄養は卵や納豆、牛乳などタンパク質を積極的にとることです。体重60kgなら1日60g以上、3食で割ると1食当たり20gになります。筋力や運動量低下を防ぐためです。

間食にプリンや乳製品、白

理学療法士 藤田慎一郎さん (49期)

フレイル(虚弱)予防に運動と栄養

れる。その代表が「フレイル」(虚弱)と、指摘します。

フレイルとは加齢に伴う心身の活力が低下した状態で、健康と要介護の中間です。フレイルは早期発見、早期介入によって再び健康な状態に戻ることができます。そのポイントは運動と栄養です。

運動、特に筋力の負荷運動を実践し継続させることが重要です。具体的には1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、歩行または同じような

飯にシラスやカツオ節、さらにカルシウムやビタミンD(キノコ、魚類)もフレイル予防に効果的です。

藤田さんは「適度な運動とバランスの取れた規則正しい食事を心掛けてください」とアドバイスしています。



藤田慎一郎さんの記事(記事中の写真は藤田さん)

運動、特に筋力の負荷運動を実践し継続させることが重要です。具体的には1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、歩行または同じような

「肝臓病の治療」というテーマで令和3年3月17日付に登場したのが、管理栄養士の大原(旧姓川崎)秋子さん(41期)です。

記事によると、冒頭、「栄養バランス良く、適量食べられていきますか?」と呼び掛けています。肝臓病の治療はまず食事で、毎日きちんと栄養をとることがポイントです。季節の食材を取り入れ、ゆつくり、よくかんで、おいしく食べることが大切です。

肝臓病に脂肪肝があります。食べ過ぎや運動不足で中性脂肪が肝臓内に異常に蓄積した状態です。この場合の食事は「主食1品(米、パン、うどんなど)」「主

記事によると、冒頭、「栄養バランス良く、適量食べられていきますか?」と呼び掛けています。肝臓病の治療はまず食事で、毎日きちんと栄養をとることがポイントです。季節の食材を取り入れ、ゆつくり、よくかんで、おいしく食べることが大切です。

大原秋子さんの記事(記事中の写真は秋子さん)のことを強調しています。

管理栄養士 大原(旧姓)秋子さん 41期

「副菜2品」(野菜、きのこ、海藻類)を心掛けます。3食ともそろえて食べます。物足りなさを感じるかもしれないが薄味に慣れ、漬物など塩分の多い食品は控えます。糖質の多い菓子やジュース、果物などの間食は量や頻度を減らします。間食が多いとエネルギー過多になります。アルコール類は量や期間が積もると肝臓の重い病気に近づくので要注意です。食事とともに大切なのは運動です。加齢や運動不足で筋肉が減ります。筋肉量を落とさないために適度に体を動かしましょう。



大原秋子さんの記事(記事中の写真は秋子さん)

2022-2023

ベストドクターズ

神戸労災病院総合内科・腎臓内科部長の佐藤稔さん(38期)が令和4年7月、「2022-2023ベストドクターズ」(The Best Doctors in Japan)に認定されました。

2年に1度発表する医師同士の相互評価によるユニークな選出方法を採用しています。名医の称号であり、岡山県ではこれまでに約120人が認定されています。佐藤さんは「同じ診療科目の他の先生方の推薦なので、とてもうれしく誇りに思います」と、認定の喜びを語っています。

腎臓内科が専門の佐藤さんは岡山大学医学部を卒業、川崎医科大学などを経て同病院に勤務しています。糖尿病性腎症や糸球体腎炎などの慢性腎臓病、ネフローゼ症候群、急性腎不全など腎疾患の発見、診療、治療か



神戸労災病院腎臓内科部長

佐藤 稔 医師(38期) 認定

ベストドクターズの認定証(インターネットより)



ら末期腎不全まで包括的に幅広く対応します。

佐藤さんは「腎疾患は年齢に関係なく発症する可能性があり、初期症状に乏しく知らないうち

ベストドクターズとは 1989年に設立されたベストドクターズ社(本社・米ボストン)の名医認定、紹介制度。「もし自分や周囲の人が自分の専門分野の病気にかかった場合、どの医師にお願いするか」という相互評価制度を導入。一定の評価を受けた医師の治療能力や研究成果、最新医療情報の精進度を考慮して決定する。

に進行しています。いったん、腎臓が悪くなると、もう治らなと思われがちですが、的確な診断と専門性の高い治療を行うことにより、改善の可能性があります」と指摘、「仮に腎機能が廃絶した場合でも血液透析、腹膜透析を施し、社会復帰・家庭復帰に向けた支援をします」と、患者に呼び掛けています。

青陵時代はハンドボール部で活動しました。3年生の青陵祭の運動会でブロックリーダーを務め、優勝したことが一番の思い出だそうです。

名医の称号を受けた佐藤さんの精度の高い診療が、より一層期待されます。

(早島町出身)



進路指導課長
村山大輔

令和4年度は延べ244人が国立大学に合格しました。そのうち難関大学は50人、医学部医学科は9人で、ここ数年では高い数値となっています。

大学入学共通テストも3回目となりましたが、令和2年度は得点調整があり、3年度は平均点の大幅な低下、4年度も理科で得点調整があるなど、安定しない入試環境の中で本校の生徒は自分の力を信じて前向きに挑戦し、素晴らしい成果を上げてくれました。新型コロナウイルスの影響で日々医療関係者の苦悩の様子が報道されていましたが、多くの生徒が医療系を志望し、強い意志をもって進学していったことは少し驚きでした

国立大学へ244人合格

が頼もしく感じております。

この学年は入学早々に臨時休校となり修学旅行をはじめ様々な教育活動が制

限されました。3年間の学校生活のほとんどをマスクで過ごすなど異例の状態であるにも関わらず、前向きにチャレンジし、多様な力を身に付けてくれたものと感じております。これからの大学などでの活躍を期待しています。

コロナ禍が落ち着き、ある程度以前の状態に戻りつつありますが、第8波、第9波という感染状況もあります。まだいろいろな対策が必要ですが、我々教員一同も生徒に負けないよう前向きに日頃の業務に取り組んでいきたいと思えます。

卒業生の皆様には、引き続きご理解、ご支援の程をよろしく願いいたします。

進路

東大や京大難関50人、岡大63人

令和4年度主要大学合格状況(既卒含む)

【難関10大学】 東京大1/京都大8/大阪大9/九州大18/北海道大1/東

北大3/名古屋大1/東京工業大1/一橋大1/神戸大7/計50

【岡山大学】 法学部5/同夜間1/経済学部9/文学部7/教育学部13/理

学部2/工学部15/農学部1/医学部

医学部2/同保健学科5/歯学部1/薬学部2/計63

早大7、上智5、東理7、関関同立206人

大16/愛媛大8/高知大8

【私立大学】 慶大1/早稲田大7/上智大5/東京理大7/MARCH12/関関同立206/岡山理大44/川崎医

療福祉大34/就実大32/清心女子大47

【国立大学】 鳥取大7/島根大4/広島大9/山口大5/徳島大7/香川

マスク生活3年 前向きに挑戦



生徒指導課長
小脇友洋

生活

棋道部、光画部、生徒会、剣道部、水泳部、車いす

【全国大会】 競技かるた部、活躍しました。へ出場し

天候にも恵まれ予定通り開催できました。4年ぶりに保護者にも観覧していただき、校長を囲んで校歌の大合唱を聞くこともできました。部活動は、生徒・顧問の目標に対する真摯な取り組みで、例年以上に13の部が全国大会・中国大会へ出場し

全国・中国大会へ13部進出 国際化！活発に海外研修、派遣

は青陵祭パンフ(右上)とオープニングステージ。



全校生徒へ機会を提示、主体的に取り組む生徒に次世代リーダー育成プログラムとして、8月と3月にグローバル・スタディーズ・プログラムを、3月にシンガポール海外研修をそれぞれ実施しています。海外派遣応募の支援として、「トビタテ！留学JAPAN」新・日本代表プログラムでフィンランドへ1人、倉敷市姉妹都市(カンザスシティ市、クライストチャーチ市)学生親善使節に4人が派遣されました。報告会を設け、全校生徒に還元していきます。

青陵祭は9月、「金碧輝煌(きんぴきこう)のテーマのもと、照らせ」のテーマのもと、

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症は5類に移行され、制限のない学校に戻りました。行事はコロナ禍での遺産を踏襲しつつ、通常通りの開催を目指し生徒主体で企画・実施しました。

青陵祭は9月、「金碧輝煌(きんぴきこう)のテーマのもと、照らせ」のテーマのもと、

バスケットボール【中国大会】陸上競技部、弓道部、剣道部、バスケットボール部、テニス部、卓球部、水泳部です。

最後に国際交流について紹介します。本校ではグローバルな社会を生き抜く力を身に付けることを目標に、英語で考え意見を述べられるリーダーの育成を目指しています。

小原の2ランで急迫も 無念ベスト8ならず

夏の高校野球岡山大会
(令和5年7月14日～18日)
3回戦

- ▽1回戦 青陵11-0芳泉(七回コールド)
- ▽2回戦 青陵3-1総社南
- ▽3回戦 光南9-2青陵

【経過】1回戦は14安打で完封勝ち、2回戦は投手戦を粘り強く制した。3回戦は小原章裕選手(2年生)の2ランホームランで詰め寄ったが、終盤に突き離された。宮田将吾(3年生)、松枝遙輝(同)両投手の力投でベスト16に入ったが、昭和54年以来44年ぶりのベスト8進出はならなかった。(編集室)

3回戦 自分たちの流れで試合

西山智貴主将の話 3回戦は「一発狙っていけ」と送り出した小原の本塁打でベンチが盛り上がった。光南を相

生徒ら1000人聴く

約1時間、大音量のサウンドをホールいっぱいに響かせ十数曲を次々披露しました。生徒たちは間近で聴くロックの迫力に圧倒されていました。

演奏終了後、伊澤さんに生徒から「楽しいこと、大変なことは?」、「影響を受けた人は?」、「後輩にメッセージを」と質問や注文があり、「青陵祭でバンド出演したこと、部活をやらずに遊んでたから大変さはない」、「森本先生から『人間万事塞翁が馬』という言葉を受けて

伊澤一葉さん(46期)の華麗なロック



芸術鑑賞で後輩に弾き語りを披露する伊澤一葉さん=倉敷市民会館

もらいました」、「負けん気が大切。幅(限界)を自分で決めない。自分探しの一人旅もよい」と締めくくりました。最後に生徒代表から花束とお礼の言葉を受けました。

□…ロックは1950年代にアメリカで生まれたリズム感の強い音楽で、若者に人気があります。

芸術鑑賞

伊澤先輩ようこそ！ 令和5年度の芸術鑑賞が5月29日、倉敷市民会館で開かれ、ロックバンド「東京事変」のメンバーとして活躍、NHK紅白歌合戦にも出場した伊澤一葉さん(46期)を迎えてロック演奏を鑑賞しました。

毎年開く芸術鑑賞にOB・OGを招くのは、最近では平成11年のピアニスト松本和将さん(49期)以来です。

鑑賞には1～3年生の全校生徒と先生方、保護者、伊澤さんの両親(20期)ら約1000人が会場いっぱいに詰めかけました。そのステージに伊澤さんは上下真っ白い服で颯爽と登場しました。

一礼してピアノに向かいソロの「サインヘッド」を皮切りに、弾き語り「青い鳥」、キーボードの一人セッション「ルーパー」などの曲を華麗な指さばきで多彩な演奏を展開しました。

全日本県対抗剣道 先鋒で出場

剣道男子の全日本都道府県対抗優勝大会が令和5年4月29日に大阪市で開かれ、青陵高校剣道部の植田瑛基3段(3年生)が先鋒を務め、岡山県チームの4年ぶりのベスト8入りに貢献しました。

実力発揮 8強入りに貢献

植田瑛基さん(3年) 青陵初 植田瑛基さん(3年) 剣道男子の全日本都道府県対抗優勝大会が令和5年4月29日に大阪市で開かれ、青陵高校剣道部の植田瑛基3段(3年生)が先鋒を務め、岡山県チームの4年ぶりのベスト8入りに貢献しました。

◇…岡山メンバー◇

監督	馬場 健治 (岡山県警)
先鋒 (高校生)	植田 瑛基 (青陵高3年)
次鋒 (大学生)	宮崎 翼 (大体大3年)
五将 (18~34歳)	樋口 健斗 (住友電工)
中堅 (教職員)	嶋村 祥 (岡山・旭東中教)
三将 (警察職員)	杉田 裕紀 (岡山県警)
副将 (35歳以上)	尾池 智行 (岡山刑務所)
大将 (50歳以上)	橋本 晴之 (岡山県警)

令和5年4月26日付山陽新聞より

試合は1回戦から剣道の盛んな熊本、前回準優勝の愛知など厳しい組み合わせでした。植田さんは準々決勝まで4試合に出場、得意の小手と引き胴で負けなしの1勝3分けの好成績を挙げ、後続の先輩たちを奮奮させたそうです。

令和4年度末の主な教職員異動

転任	着任
警察学校 主幹教諭 中原 晋介(令和4年)	主幹教諭 湯浅 太一(倉敷青陵)
岡山芳泉(再任用) 教諭 藤井 祥嗣(平成6年)	指導教諭(昇格) 英語 宮原 孝光(倉敷青陵)
倉敷鷺羽 教諭 佐々木 徹(令和3年)	英語 片岡はな子(岡山南) 青陵59期
振興課 教諭 若林 美奈(平成6年)	英語 内海 聖子(岡山芳泉)
総務 教諭 堀 直泰(平成4年)	英語 藤原 良介(新採用)
大安寺中等 養護教諭 春田 陽子(平成7年)	英語 福尾 大作(井原)

主幹教諭に湯浅先生 指導教諭に宮原先生

退職	着任
岡山白陵高 王尾 宏造(平成3年)	主幹教諭(昇格) 数学 湯浅 太一(倉敷青陵)
岡山芳泉 桑木 亨(平成3年)	指導教諭(昇格) 英語 宮原 孝光(倉敷青陵)
岡山操山 平松 利文(平成6年)	英語 片岡はな子(岡山南) 青陵59期
青陵教諭(再任用) 中山 学(平成2年)	英語 内海 聖子(岡山芳泉)
青陵教諭(再任用) 岡本 武彦(平成0年)	英語 藤原 良介(新採用)
非常勤講師 妹尾 則之(平成0年)	英語 福尾 大作(井原)
吉規 秀明(平成3年)	英語 向井 雅宣(岡山操山)
黒田 和義(令和3年)	英語 指野 緑(倉敷鷺羽)
人見 純司(平成6年)	英語 田中 智子(総社南)
理科	英語 藤原 知哉(津山)
	英語 薬師寺彩花(新採用)
	英語 三村美留里(倉敷琴浦高等支援)

新聞講座を受講後、紙面づくりを研究する新聞部員＝青陵高校



同窓会報編集主幹（元新聞記者佐藤豊行）が、入賞の取材を兼ねてお祝いに行ったところ、顧問の和田北斗先生から「新聞の話をしてほしい」ということで、急きよ、新聞の基礎講座を開きました。

紙面の見出しの基本を説明し、今回の入賞作品と過去の『青陵新聞』の紙面を解剖、見出しの付け方や写真の配置などレイアウトを点検、長所と改善点を指摘しました。

「見出しの工夫を」、「文章量が多いので、真ん中あたりに見出しを入れたら」、「見出しと写真をうまく利用してバランスの良い紙面に」というアドバイスをしました。

「取材の仕方を教えて」という質問に「決めたテーマに沿って知識を蓄え、質問項目を10個ほど準備するとよい」とアドバイスしました。

会報編集主幹の新聞講座受ける

部活に燃える

新聞部（部長 剣持和彦）が令和5年2月18日付の新聞コンクールで入賞した『青陵新聞』

新聞部

コンクール（山陽新聞社など主催）で「郷土賞」を受賞しました。入賞作品は、しばらく休刊状態だった『青陵新聞』を『青陵高校新聞』として久々に発行したものです。1000部印刷して全校生徒と先生方に配布しました。

コンクールで「郷土賞」受賞

かりした文章で、読み応えのある内容です。



特集「大原美術館と青陵」に評価

コンクールでは、地元を合わせた表（おもて）面の特集記事「大原美術館と見る青陵高校と倉敷」のテーマが評価され受賞しました。

新聞はA3判、表裏2ページです。表面の「大原美術館と見る：」では、学生証提示で無料入館できる学校メンバーズ制度を紹介しています。青陵も制度に加入しているため生徒からアンケートを取り、美術館の利用状況と今後の利用の意思を分析しました。次に、トップ記事の関連「大原美術館は第三の創業へ」、さらに、新しい「対話型鑑賞」の3本で構成しています。裏面は、教師という職業を教師自身と生徒の双方から考える特集記事となっています。

ユーモア『青陵笑辞典』人気

青陵名物といえばOBによく知られている陵歌ですが、現役青陵生には『青陵笑辞典』が静かなブームです。新聞部が毎年、青陵祭に向けて100～150冊発行、1冊100円で販売、完売する人気ぶりで心待ちにしている人が多いそうです。

『青陵笑辞典』は、令和4年9月発行が「第二十六版」とあり、平成8年ごろの創刊と思われます。新聞部員が知恵を絞って設けた見出し語（項目）は65語にわたり「あ」から「わ」まで約400語を取り上げています。頭をひねった説明は最低2行から半ページにわたる項目もありますが、まるで1冊の本のような情報量です。

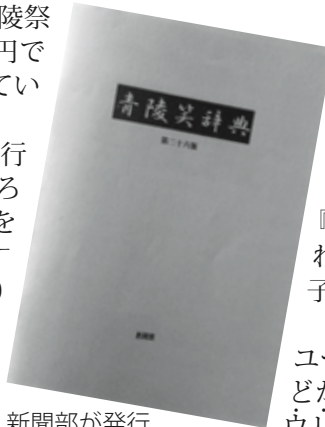
「第二十六版」の内容を見ますとー。「本書は青陵生の特殊用語学習用の伴侶」が主な用途ですが、「一般社会人の実務の必携」と、格好よく活用の幅を広げています。見出し語の地位、を得るかもしれません。

し語について「模倣を避け創意を求めため社会通念を排し、編者の独断と偏見に依った」と、面白い方針を掲げています。

例えば、身近な【愛文社】は「青陵高校御用達の書店。参考書など（略）購入で入手し損ねた生徒が自ら赴く場所」とあります。【古文】は「覚えることが非常に多い嫌な教科。『英語と同じ外国語と思え』。それは無理です。」というような調子で展開しています。

いずれも市販の辞典にはないユーモア、皮肉、本音、なげきなどが交錯したニヤリとする説明がウリで、これが現役生に受けている理由です。

校内での実績は十分です。OBに広く知られるようになれば2代目青陵名物の地位、を得るかもしれません。



新聞部が発行、人気の『青陵笑辞典』（第二十六版）

新聞部員奮闘 青陵祭用に毎年発行

寄付

妹尾全郎さん(12期) 母校へ100万円

流水水質浄化の特殊装置の開発に成功した発明家・妹尾全郎(たけお)さん(12期)が令和5年7月、母校・青陵高校に100万円を指定寄付しました。

妹尾さんは「青陵時代は宿題がないので伸び伸び遊んでばかりで、楽しい思い出しかありませんが2年生で将来のことを考えました。その後の人生がうまく回転しましてね(笑)。母校のおかげと思い、よわい80歳を超えたので恩返しに寄付を決めました。どうぞ自由にお使いください」と、寄付の機



内田博文校長から感謝状を伝達される妹尾全郎さん
|| 校長室

内田校長感謝 「図書館設備の充実に」

しています。

同月10日に妹尾さんを校長室に招いて内田博文校長が岡山県教育長の感謝状を伝達、「誠にありがとうございます。図書館設備の充実に活用させていただきます」と、お礼を述べました。

妹尾さんは水質浄化装置の製造・販売会社、障がい者の自立支援のNPO法人など計3事業を運営、従業員計約110人を抱える事業主です。

青陵高校第19代校長中山弘輝(こうき)先生が、令和5年4月の春の叙勲で瑞宝小綬章を受章しました。最近では第18代校長永井裕先生(19期)以来です。6月14日、校長室で伝達式があり、県教委を通じて送られてきた勲記と勲章を内田博文校長が中山先生に伝達しました。

青陵高校で伝達式



勲記と勲章を受け取った中山弘輝先生
|| 校長室

中山弘輝 校長に瑞宝小綬章

「果たして社会にどれだけ貢献できたのか心もとないですが、ありがたくお受けします」と感謝していました。

中山先生は岡山大学理学部数学科を卒業、数学教員として林野高校を振り出しに

青陵生については「前向きで明るく一生懸命、勉強と部活のけじめをつけ、自分をしっかり表現しています。文武不岐の実践です」と、お褒めの言葉をいただきました。受章おめでとうございました。

県立高校で勤務、備前緑陽高校教頭、母校の高梁高校校長などを歴任しました。38年間の教員生活を振り返り、「生徒によく分かる授業を心掛けました。備前緑陽高時代、初の民間人校長の

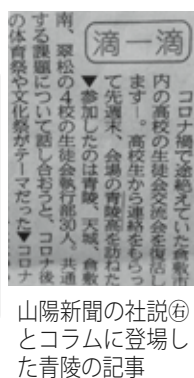
もとの民間人校長のコメントを吸収しました」と話しました。

探究学習

なんと、青陵高校が新聞の社説とコラムに立て続けに登場しました。いづれも山陽新聞で、社説は令和5年2月1日付です。普通、社説は「お説ごもつとも」の最もお堅い記事ですが、まるで一般記事のようなタッチでした。社説に載るということはほぼあり得ない話で、名誉なことです。



高校の探究学習
生徒を変えたい
社説



高校の探究学習
一滴
社説

生徒会交流会

社説の在り方としては新機軸でした。

テーマは、従来の「総合的な学習」を令和4年度から本格的に切り替えた「探究学習」です。これにちなんで同年末に開かれた「高校生探究フォーラム」(岡山県教委主催)を、社説担当の同社論説委員が青陵高校の学習成果を聞いてまとめた記事です。

県立38校のうちの1校として、

異例！青陵が社説とコラムに登場

青陵は文理混在の4人グループが登壇、「ごみのポイ捨てをITで減らせないか」というテーマで発表しました。彼らは岡山大学に相対談、スマートフォンアプリの作り方を教えてもらい、最も近いごみ箱までの経路が表示されるアプリを開発したのです。論説委員は発表する生徒たちの楽しそうな表情に驚き、「自分の力で社会を変えられる」と思うとわくわくする」という、はつらつとした談話を引き出していきます。大学と連携したことに驚き、普通科の進学校ながら本格的に取り組んだことに意外性を感じた一とあります。

山陽新聞

内田博文校長談話の

「他県のトップ校も取り組んでいます」という中で、青陵は全国的な先進性を発揮、探究学習をリードしています。

コラム「一滴」は3月24日付です。青陵がコロナ禍で途絶えていた倉敷市内の高校の生徒会交流会を復活させる呼び掛けをしたという話です。

市内4校から生徒会執行部30人が参加、共通する課題としてコロナ後の体育祭や文化祭の在り方、スマホの使い方などで議論が盛り上がったとあり、一定の成果を挙げ今後も継続、参加校を増やすそうです。この件でも青陵が主導しています。

受章

ついに青陵から世界覇者誕生！
大安寺、天城高校の元教員江口明彦さん(12期)は、2022年の国際水泳連盟(FINA)「ワールドマスターズ

傘寿の元高校教員

江口明彦さん

(12期)

ランキング」で見事1位に輝きました。傘寿の年に自ら花を添えました。江口さんは令和4年に開かれたマスターズ大会80～84歳の部・50歳自由形に出場しました。高知会場の短水路(25mプール)で32秒65、函館会場の長水路(50mプール)で33秒35の好記録でいずれも優勝、FINAから「ワールドトップ10」のトップに認定されました。短水路の記録は世界歴代6位でした。江口さんは小学生のころから水泳に親しみ、教員になり本格的に取

マスターズ水泳世界ランキング

1位



江口明彦さんのマスターズ水泳世界ランキング1位を伝える記事

り組みました。生徒を教える傍ら国体入賞など選手としても活躍しました。定年退職後はマスターズ大会に出場、これまでに7回、ワールドトップ10に名を連ねてきました。

現在も倉敷市屋内水泳センターで約1時間半泳ぐのを日課にしています。水泳歴70年を超える江口さんは「続けていたらいつの間にか記録が付いてきた感じです。今後でも楽しく元気に泳いでいきたいですね」と、世界制覇をかみしめています。

同5年8月の福岡でのマスターズ大会も銀メダルを獲得、傘寿を超えても健在です。

□…本稿は令和5年4月29日付の山陽新聞を参考にしています。

県内の高校生らが県政の課題をたず「高校生議会」が令和4年12月16日、県議会本会議場で3年ぶりに開かれ、青陵高校など17校が参加、若者の視点から県議会議員と論戦を繰り広げました。

青陵高校は生徒会役員5人が議席に着き、3人が質問しました。答弁はいずれも文教委員長です。

「スマホ使用基準を」「地球規模の人材育成」

最初に登壇した井上きらりさん(1年生)は、「学校でスマホが使用できれば学習や連絡に便利になりますが、ゲームに使用する生徒が出てくる懸念があります。県がスマホ使用に関するマニュアルを作成する考えはありませんか」と質問しました。

これに対し「学校生活においてスマホは不必要と考えています。スマホサミットは開催していますが、県が主導して

使用のマニュアルを作成することは考えていません」との答弁がありました。

続いて、小野日向汰(ひなた)さん(2年生)は、「グローバル人材育成に関する取り組みですが、募集定員や参加費の支援など工夫して多くの高校生が参加できるようにしてほしい」と提案。さらに関連して、後藤颯太(そうた)さん(1年生)が「英語力向上のためのプロジェクトや仕組みはありませんか」と質問しました。

これについて「留学促進フェアや奨学金制度もあります」、「仕組みは特にありません」との回答がありました。

いずれも前向きな回答はありませんでしたが、今後の県議会の活動に刺激を与えた建設的な質問でした。

18歳選挙権もあり、参加した生徒は県議会の仕組みや議員活動、さらには政治への理解を深めるきっかけとなつた貴重な体験をしました。

□…学年は当時です。

高校生議会に青陵生3人登壇

秀才林君とやんちゃなリュウの創作ミュージカル「マスト」。コロナ禍のため3年余待って令和5年6月、倉敷市芸文館で待望の幕が開きました。市創作舞台育成事業として企画、児島文化協会などが制作委員会を立ち上げてキャストやスタッフを公募、市内外の約70人が稽古を積んできました。



児島・味野中学校出身の林君ことノーベル賞候補・森和俊さん(28期)＝京都大学大学院教授、顔写真＝と、リュウこと元ボクシング世界王者・辰吉丈一郎さんの2人を同級生という設定で中心に据え、個性豊かな友人たちと困難を乗り越えて、それぞれの分



森和俊さんらをテーマにした「マスト」のステージ(左が森さん役的林君)＝市創作舞台育成事業児島実行委員会提供

倉敷で創作ミュージカル上演

野で成長していく姿を描いたファンタジー(空想)作品です。

脚本・演出は辰吉さんの恩師で中学校演劇部を長年指導、経験豊富な松尾綾子さん(岡山市)が担当しました。

大学に勤務していた林君はアメリカ留学でライフワークとなるテーマを見つけ、ライバルと先陣争いを繰り広げて帰国、ノーベル賞候補となり研究に没頭、かつての仲間との交流を深めます。ほぼ森さんの半生に沿ってストーリーを展開していました。

約3時間にわたり歌とダンスをステージいっぱいに繰り広げ、2日公演で訪れた約1300人の演劇ファンを魅了しました。

初日に観劇した森さんが終演後のステージで、満足げにミュージカル関係者や観客にお礼の舞台あいさつをしました。

森さんの存在が市民にさらに浸透したようです。

□…スタッフとして洋画家後藤晋さん(27期)が参加、広報デザインを担当しました。

ノーベル賞候補・森和俊さん(28期)らモデルに

米寿五陵会のメンバー



13期 傘寿 同期会

令和5年8月6日に倉敷アイビースクエアで開きました。当番幹事の年、本部同窓会総会に出席した後の恒例で5年ぶりに31人が集いました。関東、関西からも4人が遠路来てくれました。傘寿のおめでたい年です。まだ現役で仕事を

している人もいます。「今日は手品はねんか?」と、ベテラン倉藤孝之さんに声がかかり、ひもを使った鮮やかな手品を披露しました。病気の話をよく出しましたが、「顔を合わせるだけで元気が出るよ」と、お互いに健康を確かめ合っていました。(編集室)

恒例 名人の手品



宴会の前に全員集合した13期生

笑顔がまぶしい18期同窓会のメンバー



18期 同窓会

令和5年9月14日に倉敷アイビースクエアで開きました。5年刻み、古希以来です。東は関東、西は九州から77人が「おう」、「やあ」と元気に集いました。同窓会報編集主幹・佐藤豊行君から面白い裏話を聞き、代表数人が近況報告をしました。おしゃべりは3時間止まりませんでした。(牧野元重)

5年ぶり77人 3時間談笑

令和5年1月2日に倉敷アイビースクエアで開きました。渡邊重吉先生をお迎えして久しぶりに集いました。地元倉敷や岡山をはじめ東は東京、西は福岡から懐かしの同級生65人が参加しました。ゲストミュージシャン松原徹さん(同窓生)のオリジナル曲「同窓生」を聴いた後、3時間を、話の尽きることはありませんでした。1、2次会で計6時間、3次会にも34人が残るといふ盛り上がりぶりでした。(大内直樹)

24期卒業50年記念「50ライフタイム同窓会」

令和5年1月7日、ラヴィール岡山で初めての同窓会を開きました。倉敷や岡山を中心に県内外から36人が集いました=写真。大半が大学卒業前、社会人になる直前でした。集合写真はみんな笑顔でワクワク、青陵の「S」サインでキメてるでしょう。当時の思い出や将来の生き方を語り合いました。話は尽きず時計をひと回り以上、オールナイトで15時間盛り上がりました。(久戸瀬渉)

オールナイトで将来語る



同窓会みんながってみんないい

70期卒業後 初同窓会



元氣印の24期同窓会

米寿 五陵会

令和5年5月28日に倉敷ロイヤルアルトホテルで開きました。毎年の定例ですがコロナ禍で4年ぶりの開催です。東京や大阪組を含む元気な46人が参加、全員平均寿命を超えており、内訳は

遠来組を含め元気な46人

女性が男性の2倍です。自己紹介を兼ねて近況報告をし、懐旧談、健康や介護の話など話題は尽きませんでした。青陵名物・陵歌「桜花爛漫」を生みの親である仁科喜佐男君らが高らかに歌い、校歌の斉唱で締めました。(荒木武夫)

2024年の予定

本部総会

8月4日(日) 午前10時から 倉敷アイビースクエアのエメラルドホール <当番幹事 5と6のつく期>

東京青陵会

6月8日(土) 都内(予定)

近畿青陵会

5月26日(日) 正午から KKRホテル大阪 <担当幹事 35期、36期>

九州青陵会

10月12日(土) 午後4時から 福岡・西鉄グランドホテル

編集を終えて

●…ノーベル賞候補になって10年、森和俊さん(28期)がミュージカルの主役のモデルとして久々に帰郷、しました。剣道着、学生服から白衣の研究者になるまでをリズムカルに表現、森さんをイメージしながら鑑賞しました。

●…作家という次の人生を切り拓くために敢然と故郷を跡に上京したのが鷺見(旧姓江本)京子さん=26期=です。まず群像、海燕の新人賞あたりで全国デビュー、次の作品を単行本化すれば芥川賞・直木賞候補への明かりが見えてきます。

●…森さんのノーベル賞、鷺見さんの芥川賞。わくわくしませんか?

(編集主幹・佐藤豊行)

岡山県立倉敷青陵高等学校「同窓会だより 青陵」第55号

発行 岡山県立倉敷青陵高等学校同窓会 [事務局] 〒710-0043 倉敷市羽島1046-2 TEL:086-422-8001 FAX:086-422-8004 e-mail:seiryu05@pref.okayama.jp URL:http://www.seiryu.okayama-c.ed.jp 発行人 岡田展弘(25期) / 編集委員 今岡道雄(13期) 佐藤豊行(18期) 林俊輔(28期) 顧問 加川英郎(4期) / 表紙揮毫 澤田虚遊(21期) 印刷 株式会社サルト 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 お願い 同期会や同窓生の情報、話題を佐藤豊行(編集主幹090-6438-9227)、林俊輔(青陵高校教諭、同窓会担当)へお寄せください。

*原稿締め切りは毎月9月20日です。編集にお届けする卒業生は、9月1日までに卒業生を掲載します。お申し込みは、10月15日までです。1おわ

〈本紙の編集〉

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター長（部局長）・教授 宮下和士さん（38期）に聞く

北の大地、北海道で活躍する卒業生を紹介し
ます。北海道大学北方生物圏フィールド科学
センターのセンター長（部局長）・教
授を務める宮下和士さん（38期）
です。北方生物圏フィールドという聞

— 宮下さん、取材
協力ありがとうございます。
メールで申し訳ありません。早
速ですが、北海道大学北方生物圏フィールド
科学センターはどのような研究機関ですか。

北海道を中心に所在する森林、耕地、①水
圏にかかる16のフィールド（野外）施設です。
総面積は7万㊦を超え、琵琶湖や淡路島より
大きくシンガポールぐらいの面積に相当しま
す。皆さんがよく知っている観光地、札幌市
街地の植物園や②農場もこのセンターの施設
ですよ。

— 宮下さんの研究テーマは何でしょうか。
私は水圏に所属し、函館で勤務しています。

水圏生物資源の持続的利用
に関する研究を幅広く行っ
ています。具体的には魚群
探知機などの音響機器を活
用した魚類の資源量を推定
する手法やそのシステム開
発、普及のための応用研究
などです。この場合の魚群
探知機は漁業やレジャー用
ではなく、科学的根拠に基
づいて解析できる精密な計

測機器です。また、バイオロギングという
手法を用いて水中生物の行動の見える化に
も取り組んでいます。生物
にさまざまなセンサーを搭
載した記録計を装着、その
行動履歴を知ることができ
る優れモノです。例えば圧力センサーで深度情報、温度セ
ンサーで環境温度や体温、加速度センサーで動作や姿勢が
計測できます。これらのセンサーを組み合わせて情報を集
約します。

これまでに、NHKの科学番組「サイエンスZERO」
や「ダーウィンが来た！」などに複数回出演し、映像を通
じて積み重ねた研究・調査を紹介しました。サケやニシン
などを取り上げましたが、視聴者にはそれなりの人気があ
ったようです（笑）。また、水族館との共同研究とし
て、大阪の海遊館とはジンベエザメの回遊研究を続けて
もう10年になります。

— 学生にはどんな講義をしていますか。

学部は水産学部、大学院は環境科学院を担当しています。
水産学部では水圏生物の生態や生態系、海洋生物のモニタ
リング、バイオロギングの実験などです。環境科学院では
環境学を基本に、人間の活動と自然環境の持続性に主眼を
置いた講義を担当しています。また、研究室には学部の4

【注釈】①水圏：地球の表面上で水によって占められ
ている部分。海のほか湖沼や河川も含まれる②農場：北
大生物生産研究農場のこと。明治期、前身の札幌農学校
開校時、クラーク博士の指導で開設。北海道農業の土台
を築いた③4校戦：青陵、天城、南、古城池の普通科4
校の部活対抗戦。バレー部を除き現在は廃止している。



豊後水道でタチウオを調査中の
宮下和士さん＝平成25年ごろ

研究テーマ 水圏生物資源の持続的利用

北大に来て！後悔させません

き慣れない専門領域の話から高校時代の思い出、現役青陵生へのメッセージまでをメールでインタビューしました。北海道在住者の登場は初めてです。

（聞き手は編集委員）

年
生から配
属され、そのうち
毎年8～9割が大学院修士課程
に進学します。他の学科や学部、他大学、
海外からも入ってきますので研究室の総
勢は37人（令和5年現在）です。にぎ
やかで活気がありますよ。

— 北の大地の生活は倉敷とはかなり違
うでしょうね。

北海道での生活は延べ30年を超えた
でしょうか。倉敷にいた時の2倍近くに
なりました。観光都市・函館近郊の町に
住み、函館に車で通勤しています。近郊
は自然が多く四季もはっきりしており、
海の幸・陸の幸も豊富
です。冬は寒く大雪の
時は雪かきが大変です
がね、夏は涼しく過ご
せます。

私は夏場はサッカー
にBBQと釣り、冬場は
スキーと、仕事同様ア
ウトドア派ですが、最
近は仕事が忙しく残念
ながらほとんど休業状
態です。ただ冬のワカ
サギ釣りだけは無理や
り通っています。テ
ントや

ドリルなどフル装備、湖上に穴を開け
早朝から夕方まで釣り糸を垂らします。釣ったワカ
サギを料理し、それを肴に晩酌するのが生きがいにな
っていますよ（笑）。

— 最後に高校時代の思い出と現役青陵生への
メッセージをお願いします。

高校ではサッカー部でした。かなり気合の入った
部活で、日々練習に明け暮れましたね。自分で言う
のも何ですが、運動能力がそこそこだったので試合
の勝利には大きく貢献したと自負しています。最後
となる大会、③4校戦には足のけがで出場できな
かったのを今も残念に思っています。ちなみに、勉
学の成績は全くもって振るわない生徒でした。それ
でも今は大学で先生をやれています（笑）。

北大には全国から志をもった学生がたくさん集
まってきます。倉敷からは遠いですが、大志を抱き
北大の門をたたいてもらえれば、と思います。後悔
はさせません。ちなみに、青陵出身では研究室に学
生が1人、水産学部・水産科学研究院に先生が1人
いますよ。

— 具体的で的確、分かりやすく話していただき、ありが
とうございました。後輩への熱いメッセージは心に響くと
思います。

【略歴】みやした・かずし 倉敷市に生まれ倉敷
青陵高校から北海道大学水産学部、同大学院
修士課程、東京大学大学院博士課程修了。博
士（農学）。東大農学特定研究員、日本学術
振興会特別研究員などを経て北大水産学
部、北方生物圏フィールド科学センターで准教授など
を務め現在、同センター長・教授。学会・研究会の会
長や役員、国や地方自治体の委員会委員・座長など多
数歴任。北海道総合ICT水産業フォーラム会長など
も務めた。北海道・七飯町（ななえちょう）在住。

運動能力ありサッカー部で活躍！